



2008年2月25日

報道関係各位

ファイザー株式会社
大日本住友製薬株式会社

「ノルバスク®OD錠」の承認取得について

ファイザー株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：岩崎博充）は、持続性カルシウム拮抗薬「ノルバスク®OD錠 2.5mg/5mg」（一般名：アムロジピンベシル酸塩）の製造販売承認を2月14日付で取得しました。

ノルバスクは、持続的な臨床効果の特徴とし、数多くの臨床エビデンスを有する高血圧症ならびに狭心症の治療薬です。日本では1993年の発売以降、降圧治療の第一選択薬の一つとして広く処方されています。「ノルバスク OD錠 2.5mg/5mg」は、ノルバスクの新しい剤形として、口腔内で速やかに崩壊し溶けるように設計された「口腔内崩壊錠」です。

口腔内崩壊錠は、口の中で速やかに溶解服用できるという特徴により、嚥下力が低下した高齢の患者様にも服用しやすく、医療関係者の服薬介護の負担を軽減することが期待されております。さらに、水ありでも水なしでも服用できることから、服薬コンプライアンス改善においても有用であると考えられております。ノルバスクは、OD錠という新たな選択肢が加わることによって、より多くの患者様の高血圧・狭心症治療に貢献できると確信しています。

ノルバスク OD錠の製造は、大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：宮武健次郎）が行います。大日本住友製薬は、現在、「アムロジン®OD錠」（一般名：アムロジピンベシル酸塩）を製造しており、ノルバスク OD錠の製造を行うことによって、高血圧・狭心症治療において、患者様の服薬コンプライアンス向上に役立てると考え、ファイザーに供給することで合意しました。

ファイザーは、アムロジピン製剤の開発会社として、アムロジピン製剤の分割錠の開発を行いました。また、アムロジピン製剤の有効性・安全性を証明するための多くの大規模臨床試験をサポートしています。現在も、日本人の高血圧治療のための開発治験を実施中です。

ファイザーならびに大日本住友製薬では、アムロジピン製剤を通じて、高血圧・狭心症治療に対する更なる貢献のため、今後も継続的に協力していく予定です。

以上

(ご参考)

「ノルバスク[®]OD錠 2.5mg/5mg」の概要

- 【販売名】** ノルバスク[®]OD錠 2.5mg (Norvasc OD Tablets 2.5mg)
ノルバスク[®]OD錠 5mg (Norvasc OD Tablets 5mg)
- 【一般名】** アムロジピンベシル酸塩 (Amlodipine Besilate)
- 【成分・含量】** ノルバスク OD錠 2.5mg は1錠中アムロジピンとして 2.5mg を含有し、
ノルバスク OD錠 5mg は1錠中アムロジピンとして 5mg を含有する。

【効能・効果、用法・用量】

高血圧症：通常、成人には、ノルバスクとして 2.5～5mg を1日1回経口投与する。なお、症状に応じ適宜増減する。

狭心症：通常、成人には、ノルバスクとして 5mg を1日1回経口投与する。なお、症状に応じ適宜増減する。

—この件に関するお問い合わせ先—

ファイザー(株) 製品広報部
大日本住友製薬(株) 広報部

TEL 03-5309-6719
TEL 06-6203-1407